

このまちに
求められて
いるもの

丹波篠山は過疎ではない

このまちは、人口こそ減ってきていますが、転出過多ではなく、過疎になっているわけではありません。人口減少の速度も鈍化傾向にあります。このため、悲観することなく、いかにまちを元気に保つかを考えればいいのです。

それは、①ひとりひとりが活躍すること、②外から元気をもらうことです。

10年後に失われる恐れのある年45億円のまちの元気を新しいしくみや技術で補いプラスにすることを、丹波篠山市は進めていくべきです。一人ひとりの目標は月2万円の収入アップです。

暮らしがブランドなら市民はエキストラ

市は「丹波篠山暮らしそのもの」をブランドにしていこうとしています。一方で、市内交通の使い勝手の悪さが大きな課題となっています。

賑わいのため、シニア無料パスなどで公共交通の利用を増やし、暮らしを豊かにしながら丹波篠山ドラマに出演いただく方を増やしていきます。

新しいしくみ・技術を活用して外出支援が充実するように調査・研究を進めます。

公共交通
シニア
無料パス



人口減少での経済縮小45億円に備える

渡辺ひろみちの活動目標

挑戦をサポート、趣味から実益を生み、まちに元気をつくる

EACH
20KUP

月2万円の収入アップを応援

スマホ
サポーター

スマートフォンがまちを支える

広い丹波篠山で豊かに暮らすには通信技術を自分のものにする必要があるでしょう。スマホ活用ができるようになると行政サービスも落とさずに済みます。

このため、スマホサポーターを地域に配置し、IT識字率のみならず活用技術向上に努めていきます。

スマホ技術向上×市全域観光×特技・趣味を実益にするため、「市民ユーチューバー1000人作戦」を進めます。動画の作成スキルアップを通じてスマホを使いこなし、動画広告収入も目指しましょう。

右の有名な動画を目標にしています。



年中フリー
マーケット
作戦

分類して並べれば商品になる

丹波篠山は、様々な手仕事や趣味の創作活動が盛んです。また、断捨離や早くから終活と言ってモノを整理される人もいます。これらを例えば、本、アクセサリ、子供服など特化した多様なフリーマーケットが開ける環境を整えて、売り手と買い手を豊かにします。

また、ふるさと納税の改革を行います。市の活用する納税サイト「ふるさとチョイス」（シェア40%）に「さとふる」（同25%）「楽天ふるさと納税」（同25%）を追加、返礼品充実でまちと個人の収入アップを進めていきます。

市民
youtuber
1000人
作戦

安心な地域医療・子育て支援・学力向上・障がい者活躍・地域福祉の充実・新時代のコミュニティづくり・駅東口と経済対策・令和一村一品作戦・商標活用・議員定数報酬一体改革

全ての
課題に果敢
に挑戦

